



春名哲夫

県政報告

第1号

■発行日 平成23年8月28日

■発行者 春名哲夫

★第309回定例議会一般質問

“新人議員にもかかわらず早くも登壇”

宍粟市の課題を熱く語り問いたです!!



井戸知事の視線の中、熱弁!



再質問する様子



本会議全体風景

と大胆にも提言した私に対し、井戸知事は笑顔をもって真剣に答えてくださり、また県当局からも前向きな回答がいただきました。宍粟市の課題の深刻さが少しは伝わったのではないかと思います。

幼保一元化は市の行政、国道29号線については国土交通省の管轄ですが、それらを踏まえて県の考え方を質しました。私の質問は次のページの6項目です。要約いたしております。

宍粟市の皆さんの力強いご支援を受けて、去る6月11日、89名の一人、宍粟市選出議員として就任いたしました。

議会には7つの常任委員会がありますが、いち早く議会の要である総務常任委員会に手を挙げ所属いたしました。

6月15日から始まった当選後最初の兵庫県議会第309回定例会においては、一年生議員でありながら早くも一般質問の機会を与えていただき、6月23日午前9時30分、当日トップバッターとして、同僚議員や多くの後援会の皆さんに拍手で送られ登壇いたしました。宍粟市に軸足を置いている質問に、井戸知事はじめ、当局側から真摯にお答えをいただき、また再質問においては、

「宍粟総合病院の医師確保については厚生労働大臣になっても法律を変えたい!」

問① 生活関連道路の整備について

◎岩野辺山崎線、養父六栗線、加美六栗線のような狭小箇所を抱え生活に直接影響する道路の狭小箇所や一宮町嶋田、波賀町日見谷国道9号、歩道が無い区間こそ県民の安全安心の観点から、最優先に整備すべき。又トンネル等大規模な道路整備について、十分な整備効果の検証を行えば、真に必要な事業は実施していく姿勢も必要ではないか。
地域住民にしっかりと説明できる明確な考え方を持って、道路整備を進めていく必要があると思うが、生活関連道路の整備に関する考え方に ついて。

答① 濱田 県土整備部長

◎今年度より生活道路緊急改善事業を創設
◎地域の課題やニーズにきめ細かく対応していく
◎通学路の安全対策として国道29号線田井地区に続き順次事業化されるよう国に要望していく。

問② 地域医療確保に 対する支援について

◎地域に医師が確実に確保されるためには「県による研修医の受入促進、臨床研修医受入制度の確立」が求められていると思う。国に対して、地域事情を踏まえた「診療科目ごとの専門医が適正配置されるような仕組みづくり」を検討し提言すべき。
地域医療の連携強化による維持・確保を図るとともに、カルテのネットワーク化支援体制の構築も目指していくべき。
実効ある医師確保対策をはじめとした、地域医療確保に対する効果的な支援について。

答② 井戸 知事

◎臨床研修医の受け入れ定員は県の権限で増減できるよう国に要請する。
◎カルテネットワーク化モデルシステムの構築を図る。
◎医師の確保と偏在対策を推進し地域医療の充実を図る。

問③ 長期医療、長期介護を 必要とする高齢者等 への対応について

◎六栗市では、特養ホームが5施設あり、総定員330名に対して463名の入所申込者を数える状況であり、療養病床は、わずか6床だけである。療養病床については、きちっとした方向性を示すのが政治ではないか。
長期医療、長期介護等を必要とする高齢者に対応するため、どのように介護サービスや医療提供体制等の充実強化を図られるのか。

答③ 井戸 知事

◎県介護保険事業支援計画を作成する
◎施設と在宅のバランスのとれたサービス提供体制の強化を図る。



答④ 大西 教育長

◎学校施行規則により適正規模が定められているが市教育委員会で総合的に判断する。
◎学校施設の整備やスクールバスの購入等に国の財政支援を活用できるようにする。

問⑤ 幼保一元化の 推進について

◎廃校利用に関して県教委から指導・助言・提案を行う。
◎学校運営や教員体制の支援等魅力ある学校づくりを支援する。

◎本県においては、平成22年4月1日現在、0件が認定こども園として認定され、認定件数では、全国2位の状況にありますが、全国的には政府が掲げる目標にはほど遠い。
県としても、まだ認定こども園が設立されていない市町を中心に、認定に向けた指導を行うとともに、財政支援の充実も含め、さらなる認定の推進に努める必要がある。
県の「安心こども基金事業」による補助制度等の、認定こども園に対する財政支援を含む、幼保一元化の推進に向けた今後の展望について。

問⑥ 豊かな森林の 育成について

◎昨年六栗市で稼働した兵庫木材センターについては、外材に対抗できる県産木材の供給システムの構築を通じた、森林所有者への利益還元、持続可能な健全な森林の育成につながるしていくことが期待されている。
低コスト原木供給団地の整備も森林所有者に施策のメリットを十分に啓蒙していくことが必要である。
「ひょうご林内路網1、000キロメートル整備プラン」の対象となっていない地域の森林への対策として林道・作業道の整備も、必要である。豊かで健全な森林の育成について、兵庫木材センターの果たす役割や、低コスト原木供給団地や林道・作業道の整備推進の観点も含め、今後の県としての取り組みについて。

答③ 井戸 知事

◎川上から川下までの一貫した供給体制づくりを行う。
◎川上では林内路網整備、低コスト原木生産基地化。
◎川中では兵庫木材センターの稼働により品質・価格・供給面で外国産材との競争力をつける
◎川下では公共建築物の木質化、木造住宅促進、学校机や木製玩具の推進
◎「新ひょうごの森作り」を進め「県民緑税」の活用により災害に強い森作りを目指す。



歩道のない国道29号線



六栗総合病院

◎文部科学省では、小学校の適正規模として2、8学級程度としているが、生徒数が100名より少ない公立小学校が、六栗市では全20校中12校も存在している。
学校の統廃合等について、跡地利用を検討する市町への指導助言など統合推進への課題解決に向けた県の支援を期待する。
スクールバスの購入等の予算面等や教育環境への支援について県から市町等への一定の支援が望まれる。
県として学校の適正規模というものをごのよう認識しているのか、又小規模学校への適切な運営や教育環境の充実等に向けた支援についてどう考えられているのか。

問④ 学校の適正規模と 小規模学校への 支援について

答⑤ 清原 理事

安心こども基金の対象とならない下記の項目について県独自の支援を行う
◎調理室設置の助成。
◎0～2歳児保育の運営費助成。
◎認定こども園アドバイザーの設置。
◎障害児受け入れ園への助成。
◎今後整備を進め今年度中に認定こども園を施設に増やす。



木材センター視察



私の右側、井戸知事・田路市長

井戸知事 一宮町千町に

去る8月1日の神戸新聞や、広報しそう8月号にも掲載されたとおり7月30日岩塊流を視察された井戸知事に「あこがれ千町の会」の藤原拓美会長や田中強自治会長等が中心となって地域の課題を挙げ懇談をいたしました。

地域の皆さんの人柄と、取り組まれている姿勢に感銘を受け、宍粟市は限界集落、小規模集落の課題を抱えており、いい手本となります。私は、「県内には10箇所の地域性や特異性がある県民局があり、それぞれが連携をとって都市との交流を進めていくべきである」との見解を知事や県民局長の前で示しました。

県議会 総務常任委員会は土万ふれあい館を視察



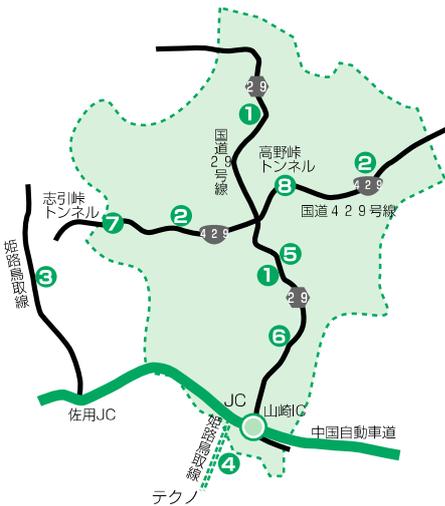
お礼を言う春名

8月8日、私が所属する総務常任委員会3名全員に土万ふれあい館を視察いただきました。助光館長からは、「地域の人口減は非常に心配している。土万地区の核となるふれあい館の存続に頑張る。」と、地域事情を踏まえ力説いただき、数時間後県民局において、ある同僚議員から県行政に対して「先ほど土万ふれあい館を見てきました。現状察知の上よろしく頼む。」と発言いただくなど、力強く感じました。



説明をいただく助光館長

宍粟市内の県道及び国道



宍粟市内には9つの主要地方道と2の一般県道があります。通行不可の8路線や、すれ違いの出来ない狭小箇所も数多くあり、鉄道の無い宍粟市は道路交通に頼らなければならぬ現状を抱え、各地域単独や市役所を交えた改良促進協議会が発足しております。

まずは生活用道路の整備が急がれるべきでしょう。養父宍粟線・加美宍粟線・岩野辺山崎線など。

右図をご覧ください

宍粟市の全体から見ると波賀町の上野で南北に①国道9号線、東西に②国道429号線であり

ます。姫路鳥取線においては、③佐用町から鳥取まで2年後には全面開通いたします。

④テクノから山崎の中国道ジャンクションまでは、今年度測量調査に入り平成2年に完成予定であります。そうなる宍粟市の全ての将来を考えた場合最低、縦と横の動脈つまり市内を走る国道の2本を考えなければなりません。

国道29号線に於いては、⑤波賀町や⑥一宮町の歩道の整備や、国道429号に於いては、⑦志引峠トンネル、⑧高野峠トンネルの開通に向けて努力してまいります。



養父宍粟線促進協議会

加美宍粟線 改良陳情



加美宍粟線の陳情

主要地方道8号線と称する染河内を走る県道である。去る8月2日、龍野土木事務所田中所長を宍粟事業所に招いて、市議会岡崎副議長・市民局同席のもと、藤原染河内地区会長はじめ、自治会長全員が加美宍粟線改良を陳情する。

この道路は過去には一部設計も出来ており順調よく進むかと期待していましたがここ数年県のプログラムから外れており

ます。熱意ある自治会の陳情に対して田中所長からは、「研究してプログラムに乗せる努力をする。」との回答をいただきました。ターゲットを致しました。

兵庫県議会の会派構成 (89人)

自 民 党 46	民主党・県民連合 20	公明党県民会議 13	共産党 5	無所属 5
-------------	----------------	---------------	----------	----------

兵庫県の平成23年度 当初予算



区分	予算額 (百万円)	構成比 (%)	対前年度比 (%)	区分	予算額 (百万円)	構成比 (%)	対前年度比 (%)
商工費	477,077	22.4	86.6	県税	558,100	26.2	102.5
教育費	459,301	21.6	98.2	地方交付税等	487,800	22.9	97.1
公債費	286,273	13.5	102.7	地方譲与税	69,710	3.3	118.7
民生費	256,541	12.1	103.4	地方特例交付金	7,265	0.3	96.9
土木費	198,967	9.4	89.7	交通安全対策特別交付金	1,854	0.1	97.7
総務費	163,144	7.7	108.8	県債	142,626	6.7	95.5
警察費	133,672	6.3	127.5	国庫支出金	179,796	8.5	95.8
衛生費	61,705	2.9	2.9	繰入金	111,890	5.3	109.4
農林水産費	56,120	2.6	88.4	諸収入	544,184	25.6	87.4
労働費、災害復旧費、議会費、予備費	35,665	1.5	91.6	その他	25,240	1.1	87.9

注:土木費、農林水産費で、対前年比10%超の減となっているが、公共事業など投資的経費については、22年度12月補正と合わせた16ヶ月予算として、前年度並みの投資事業量を確保している。

常任委員会 兵庫県議会には7つの常任委員会があります

- * 総務常任委員会
- * 建設常任委員会
- * 健康福祉常任委員会
- * 文教常任委員会
- * 産業労働常任委員会
- * 警察常任委員会
- * 農政環境常任委員会

春名は総務常任委員会に所属

総務常任委員会 定数13

県政策の総合的推進、自律・分権型県政の総合的推進、参画と協働の推進と県民文化の創造、情報化の推進、防災危機管理対策などについて審査・調査します。



日	内容	日	内容	日	内容
25日	若桜下三河線改良促進協議会(現地踏査)	30日	さわやかトーク 井戸知事と会流 千町	6月11日	県議会議員就任
23日	議員団総会 終了後1期情報交換会 絆の会	29日	総務常任委員会 管内調査(阪神地区)	13日	議員団総会 神戸
22日	総務部政策委員会 神戸	28日	総務常任委員会 管内調査(西播地区)	14日	連合自治会総会 山崎
19日	JC議員連盟 中学生議会 神戸	27日	総務常任委員会 管内調査(西播地区)	15日	第309回定例会 初日
18日	総務常任委員会 管内調査(西播地区)	26日	総務常任委員会 神戸	16日	本会議
17日	総務常任委員会 神戸	25日	総務常任委員会 神戸	21日	本会議
11日	政務調査 日本たばこ産業	24日	本会議(春名哲夫 一般質問)	22日	本会議
10日	政務調査 総務部会	23日	総務常任委員会 神戸	20日	本会議
9日	政務調査 警察部会	22日	総務常任委員会 神戸	19日	本会議
4日	議友会 山崎	21日	総務常任委員会 神戸	18日	本会議
8月2日	加美穴栗線整備改良陳情 染河内自治会	20日	建設常任委員会に合流 千町 岩塊流視察	17日	本会議
		19日	政務調査 穴栗総合病院	16日	本会議
		17日	政務調査 一宮町三方町県道	15日	本会議
		16日	政務調査 県警明石試験場	14日	本会議
		15日	政務調査 県警明石試験場	13日	本会議
		14日	政務調査 広域ヒジヨウ研究会 県庁	12日	本会議
		13日	穴栗防犯協会定期総会	11日	本会議
		12日	若桜下三河線改良促進協議会	10日	本会議
		11日	養父穴栗線一宮改良促進協議会	9日	本会議
		10日	社会を明るくする運動穴栗地区住民大会	8日	本会議
		9日	兵庫県保健衛生大会 赤穂	7日	本会議
		8日	兵庫県保健衛生大会 赤穂	6日	本会議
		7日	揖保川改修促進協力会総会 たつの	5日	本会議
		6日	西播磨地域政策懇話会 テクノ	4日	本会議
		5日	国道429号志引峠トンネル促進協議会総会	3日	本会議
		4日	政務調査 西播磨県民局	2日	本会議
		3日	社団法人 倫理公正会	1日	本会議
		2日	政務調査 西播磨県民局		

春名哲夫の活動日誌

事務所のご案内

〒671-2576
兵庫県宍粟市山崎町
鹿沢237-5 (HTOビル2F)
TEL.0790-63-0770
FAX.0790-63-0760
E-mail info@harunatetsuo.jp (春名直通)
office@harunatetsuo.jp (事務局)
URL http://www.harunatetsuo.jp/

春名哲夫 検索

